

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築するため、社内規則を制定している。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8							16.1 16.2 16.7			
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を社内規則に明記している。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8							16.1			
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・長時間労働是正のため、従業員の労働時間の確実な把握、および従業員の生産性向上に努めている。											8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者に対する差別のないような事業体制を整備し、社内規定にもその旨を明記している。				4.4							8.7 8.8							10.2 10.3		
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・通勤中や業務中の交通事故防止のため、交通法規を遵守している。											8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する知識や情報収集に努め、長時間労働防止等のメンタルヘルスの状態維持に資する取組を行っている。											3									
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材に対して当事業所の門戸を開いており、広く登用し活躍できるような体制を整備している。					5.1 5.5						8.5							10.2 10.3		
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・商工会議所や法人会等にて実施される研修や検定への参加を推進している。				4	5.5						8							9		
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制を整備している。					5.5						8.5							10.2 10.3		
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ												8									
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の分類には一層注意し、特に利用済紙類は再利用を心掛けている。															11.6	12.4		14.1		
	12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・月々の水道使用量、電気・ガス使用量については適宜モニターしている。											7.3							13		
	13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・【予定】算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握する。											7.2 7.3						12.4	13.3		
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用削減に努めている。											3.9						6.3		11.6	12.4
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・生物多様性保護に関する情報収集に努め、環境問題に関心を持つことで生物圏保護に寄与する。											6.6								15	
	16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・使い捨てプラスチック使用の削減や印刷物の白紙裏面再利用等に努めている。																		12.5	14.1	
	17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ												6.4 6.6									

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7							12	13.3	14	15						
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ															12.6									
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2									13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ															12.2	13	14	15						
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む規範を整備し、会計の透明性を確保している。																					16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為防止のため、関係法令の把握と規範の整備に努めている。																						16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・広告等において他社ロゴの無断利用等知的財産侵害のないよう細心の注意を払っている。										8.2		9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報に関連した書類や情報は、従事員のみ利用可能な倉庫内に収納するか、ログインパスワードを設定しウイルス対策をしたパソコンによって、適切に管理している。																						16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																								16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5						8		10			12	13	14	15	16	17		
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・各種法令やガイドラインなどの動向を絶えず注視しながら、商標権や財産権等、他者の権利を侵害しないサービス提供を行うように努めている。				3.9													12.4						
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からの要望を確認し、満足度の高いサービス提供を行えるように日々改善改良を重ねている。																							
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6										12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	自社事業の売上安定化による雇用創出等により、地域貢献に努めている。				4						9		11	12		14	15		17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ					4								11			14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ										8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念及び経営目標を明文化しており、適宜確認している。										8	9								17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令順守に資する内容の業界誌記事確認等により、法令順守の重要性を確認している。																		16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・代表が企業活動の状況を常に把握し、社会や環境への影響を常時モニタリングしている。																		16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・決算時等随時ステークホルダーとの意見交換の機会を設け、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し対応している。																		16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																			16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																			16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続強化計画の認定を中小企業庁から受けている。											9		11		13	13.1		16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ										8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）